

韓国内市場シェア No.1 PIOLINK 社製 L4-L7 負荷分散装置の販売を開始

～ 高性能でコストパフォーマンスの高い負荷分散装置 ～

株式会社 IRI コミュニケーションズ(本社:東京都新宿区 代表取締役社長:持塚 朗 以下 IRI-Com)は、株式会社アンペール(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:草柳高志、以下アンペール)とのパートナー契約に基づき、株式会社パイオリック(本社:韓国ソウル市)の開発した負荷分散装置「PIOLINK シリーズ」の販売を開始しました。一般企業や ISP・キャリアなどの通信事業者、金融機関、自治体・電子政府等におけるインターネット・トラフィック・マネージメント・ソリューションとして販売を展開してまいります。

インターネット・トラフィック・マネージメント(ITM)は、ネットワーク機器(Web サーバ、ファイアウォール、キャッシュ・サーバ、VPN 機器、インターネット・アクセス回線等)に対するユーザーからのリクエスト及びトラフィックを効果的に処理しインターネット・サービスのニーズに対して、高品質・高信頼性のサービスを提供し、増加し続ける Web アプリケーションのトランザクション、e-コマースのトラフィック・フローを効果的に制御し管理します。

◆PIOLINK シリーズとは●●

PIOLINK シリーズは、ハードウェア、ソフトウェア共に専用設計によるスイッチ型負荷分散装置でサーバ負荷分散製品 (PIOLINK1700/3000/4000)とネットワーク負荷分散製品(PIOLINK1608)の 2 分類 4 製品があります。

サーバ負荷分散製品とは Web サーバなど一般のサーバ負荷分散に加え、VPN 装置、キャッシュ・サーバ、ファイアウォール等の特殊サーバの負荷分散機能を有し、それらを同時に提供できる統合型 L4-L7 スイッチング製品です。

ネットワーク負荷分散製品はマルチホーミング環境で各種回線の負荷分散、障害回避、インバウンドの負荷分散を提供します。

[ハードウェアの特徴]

- 電源およびフラッシュ・メモリの 2 重化による安全対策
- アプリケーション・スイッチング・エンジンを複数搭載する事で高速化と縮退運転を可能
- ギガポートのインタフェース提供(PIOLINK3000/4000)

[サーバ負荷分散製品の特徴]

- 多様な負荷分散機能を 1 台で同時に提供(サーバ負荷分散、キャッシュ・サーバ負荷分散、ファイアウォール負荷分散、VPN 負荷分散)
- L7 レベルでのトラフィック制御

[ネットワーク負荷分散製品の特徴]

- RoundRobin や Max Download Bandwidth、Max Upload Bandwidth など多様な分散アルゴリズム
- インバウンドのネットワーク負荷分散機能を提供

〔各製品概要〕

PIOLINK1608

PIOLINK 1608 は、複数のインターネット・アクセス回線(専用線、xDSL、CATV、広域イーサネット、FTTH等)を結合し、インターネット接続の安定性、効率性を高めて、通信サービスにおける回線の通信品質を確保するネットワーク負荷分散のスイッチ製品です。8ポートのファースト・イーサネット・インターフェースを持ち、ネットワーク回線として最大7回線まで統合できます。



PIOLINK1700 シリーズ

PIOLINK 1700 は、多様な負荷分散機能(サーバ負荷分散、キャッシュ・サーバ負荷分散、ファイアウォール負荷分散、VPN 負荷分散)、コンテンツ・スイッチング機能、セキュリティ機能を持つ L4-7 スイッチ製品です。8/16ポートのファースト・イーサネット・インターフェースを持ちます。また、独自の ASE (Application Switch Engines)を2つ実装しており、最大 400Mbps のスループットを提供します。



PIOLINK3000 シリーズ

PIOLINK 3000 は、多様な負荷分散機能(サーバ負荷分散、キャッシュ・サーバ負荷分散、ファイアウォール負荷分散、VPN 負荷分散)、コンテンツ・スイッチング機能、セキュリティ機能を持つ L4-7 スイッチ製品です。2ポートのギガビット・インターフェースと8/16ポートのファースト・イーサネット・インターフェースを持ちます。また、独自の ASE(Application Switch Engines)を4つ実装しており、高可用性、高性能を実現しています。



PIOLINK4000

PIOLINK 4000 は、多様な負荷分散機能(サーバ負荷分散、キャッシュ・サーバ負荷分散、ファイアウォール負荷分散、VPN 負荷分散)、コンテンツ・スイッチング機能、セキュリティ機能を持つ L4-7 スイッチ製品です。9ポートのギガビット・インターフェースを持ちます。また、独自の ASE(Application Switch Engines)を6つ実装しており、高可用性、高性能を実現しています。



〔販売価格(税込み)〕

PIOLINK1608 が 1,559,250 円、PIOLINK1700 (8ポート)が 1,778,700 円、
PIOLINK1700(16ポート)が 1,998,150 円、PIOLINK3000 (8ポート)が 2,575,650 円、
PIOLINK 3000 (16ポート)が 2,933,700 円、PIOLINK 4000 が 3,950,100 円になります。

〔販売戦略〕

PIOLINK シリーズは、IRI-Com がこれまで培ってきた IP インテグレーションテクノロジーを駆使した AdvancedNI のソリューション製品としての直販売及び、ビジネスパートナー様を通して一般企業、ISP・キャリアなどの通信事業者、政府機関、学校、集合住宅等のエンドユーザーへの提供を行なっています。

IRI-Com は、本製品の販売と同時に本製品におけるビジネスパートナー様の募集も行っています。

【企業情報】

企業名:株式会社 IRI コミュニケーションズ

本社所在地:東京都新宿区西新宿 1-26-2 新宿野村ビル 11F

設立:2000年11月30日

代表者:代表取締役社長 持塚 朗

ホームページ:<http://www.BBSec.co.jp/>

【提携する会社概要】

企業名:株式会社アンペール

ホームページ:<http://www.ampere.co.jp/>

事業概要:アンペールは、1971年に設立。自社工場を所有し産業用制御システムの設計・製造・販売と、情報システムを支える電源バックアップ装置やネットワーク機器を中心とした製品の販売・サポートを行っています。アンペールは、メーカーとしての強みを生かし、自社工場にて高レベルの品質管理を行っています。

【製品開発元概要】

企業名:Piolink Inc.

ホームページ:<http://www.piolink.co.kr>

事業概要:Piolink 社は、2000年に韓国にて設立された、インターネット・トラフィック・マネージメント(ITM)ソリューションの専門企業です。Piolink 社の「PIOLINK シリーズ」は、ミッション・クリティカルなネットワーク環境において、高可用性、高性能、高セキュリティを提供しながら、同時に低コストを実現しています。

韓国では、高い信頼性を求められる金融機関の本店-支店を繋ぐVPN 負荷分散市場で80%という高いマーケット・シェアを確保するほか、韓国の陸軍本部、韓国政府が進める「地方行政情報ネットワークの冗長化事業」にL4-7 スイッチ調達先企業として指定されるなど、政府機関、金融機関、一般企業、学校等の300余サイトへの納入実績を持っています。昨年度から日本を含めて中国等のアジア市場へ本格的に進出しており、今後アプリケーション・スイッチング・ソリューション分野でのグローバル企業を目指しています。

【本リリースに関するお問い合わせ】

株式会社 IRI コミュニケーションズ 社長室 広報 田中

TEL 03-5908-0715

E-mail press@BBSec.co.jp

【その他 サービスに関するお問い合わせ】

株式会社 IRI コミュニケーションズ 第1営業部 田淵

TEL 03-5908-0715

E-mail sales@BBSec.co.jp